資料3

第３次寝屋川市環境基本計画

進捗管理

＜概要版＞

令和７年度実績

1 生物多様性と自然環境

～水とみどりに親しめる、人と生き物が共存するまち～

施策の方向性

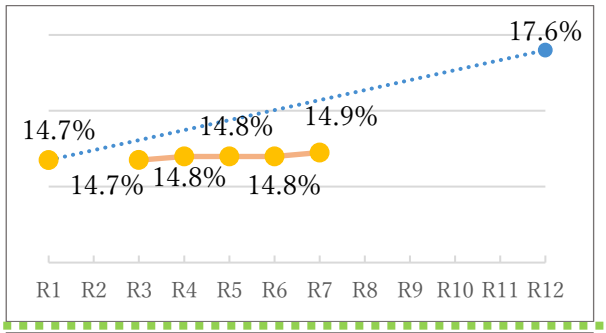
水辺やみどりにふれあえる場を充実させ、自然環境を保全し、多様な生き物がすむ、水とみどりがあふれるまちをめざします。

10年後の目標

※実線：実績値　　点線：目標値

市面積における緑地の割合

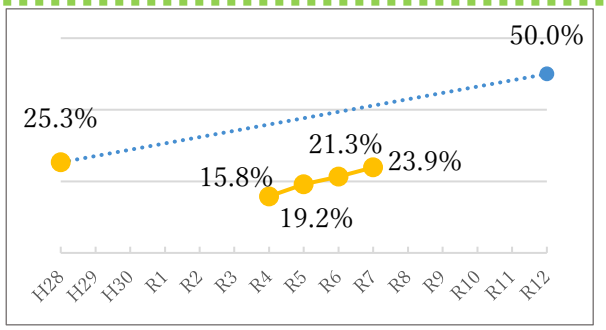
令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
14.7%	14.9%	17.6%



生物多様性の認知度

令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
25.3%（H28）	23.9%	50%

※基準値は国による調査結果です。
※R4以降の実績値は市内小学生のアンケートの結果です。



主な施策

❶生物多様性の保全

◆自然観察会等による自然とふれあう場の提供
◆外来生物の移植・移入の防止等外来生物対策の推進
◆広報等での周知による市民の生物多様性に関する意識の向上



❷水辺環境の整備と保全

◆水辺環境の整備と保全による一層親しめる水辺空間の創出



❸みどりの保全と充実

◆協働・共助による都市空間における緑地の保全と創出
◆農業者への支援を通じた農地の保全・活用等の推進
◆情報交換や助成制度等の充実による市民の緑化意識の向上
◆新築や建て替え時等における民有地の緑化

みんながやること

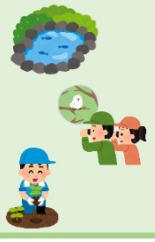
市　民

◆市内で採れた農産物を積極的に購入しましょう。
◆自然観察会や勉強会に積極的に参加しましょう。
◆生垣や壁面の緑化を行いましょう。



事業者

◆事業場敷地内の緑化やビオトープの設置を進めましょう。
◆水やみどりの保全や創造への取組に参加しましょう。
◆生物多様性の保全活動への支援を検討しましょう。



目標達成のための指標と関連する事業

緑被率

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
18.4%	18.7%	22.0%

関連する事業

■公園整備事業

都市公園等の整備、拡張を行う。

■民有地緑化

市民との協働により花と緑に囲まれた緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりを進めるため、建物の新築、建て替えにおける緑化の指導、誘導を行う。

農地面積

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
151.3ha	135.9ha	維持

関連する事業

■農業者支援事業補助金

農作業用の機械器具の購入費補助や地元農産物直販の奨励等の農業者への支援を通じ、農地の保全に取り組む。

■耕地事業補助金

市内にある農業用施設の改修費等補助等の地元団体へ支援を通じ、農地の保全に取り組む。

■農地の保全促進事業

農地を貸したい人・借りたい人をマッチングさせる事業や、貸農園を新たに整備する際の費用補助事業などを通じて、農地の保全に取り組む。

■地域計画策定事業

改正農業経営基盤強化促進法に基づき、減少傾向にある農地の効率的かつ総合的な利用を図るため、目指すべき将来の農地利用の姿の実現に向け、地域計画の推進に取り組んでいく。

その他の関連する事業

■自然観察会

市内の公園や河川等にて、自然とのふれあいや講師による説明を通じ、自然環境や生物多様性への理解を深めることを目的に開催する。

みどりに関する団体の活動区域面積

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
14.2ha	14.8ha	27.4ha

関連する事業

■公園緑地等植栽サポーター事業

寝屋川市と地域住民との協働による魅力ある緑化の推進に向けて、ボランティア組織が寝屋川市の管理する公園・緑地等の花壇などを有効活用し自ら選定・花づくり・緑化等を提案する。

水辺の整備・保全活動の参加者数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
4,792 人	799 人	4,800 人

関連する事業

■クリーンリバー寝屋川作戦

一級河川寝屋川でのクリーンリバー寝屋川作戦における、市民協働による清掃活動の実施。

■水辺空間におけるイベント

茨田イチョウまつりなど、市民団体等を主体とする水辺空間におけるイベントの開催。

■生物調査

河川や水路等における、生物の生息状況などの調査の実施。

■ワークショップ会議

水辺環境の整備と保全を推進するためのワークショップ会議の開催。

2 生活環境

～安全・快適な都市環境のなかで健康なくらしができるまち～

施策の方向性

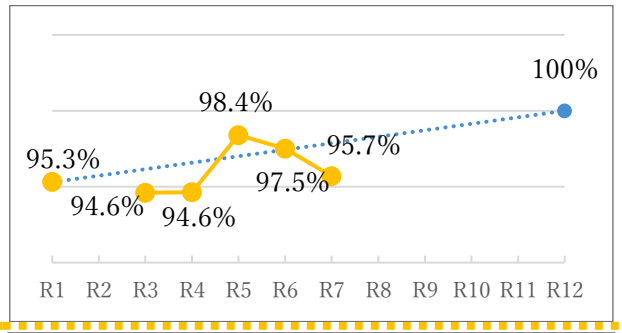
まちの美化に関する市民、事業者の意識の高揚を図るとともに、土地、建物の適正な管理等により、良好な都市環境を推進します。さらに工場・事業場の規制・指導により、良好な生活環境の確保をめざします。

10年後の目標

※実線：実績値　　点線：目標値

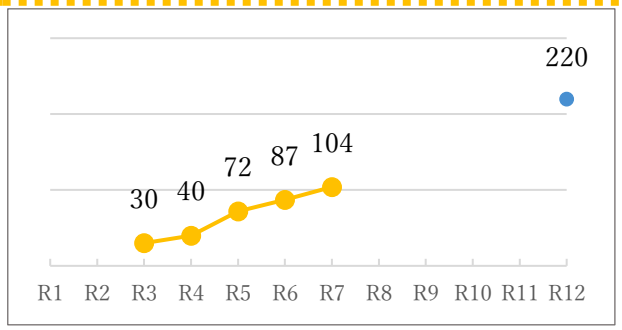
工場・事業場の事業活動に伴う苦情の解決割合

令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
95.3%	95.7%	100%



空き家流通に係る所有者等同意取得者数

令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
-	104件	220件



主な施策

❶良好で安全な生活環境の保全

- ◆美しいまちづくり条例に基づく環境美化の推進
- ◆地区計画制度の活用等による建築物等の規制と誘導
- ◆空き家対策の推進等による住環境の保全と地域の活性化
- ◆重点地区の拡充や規制による良好な都市景観の保全と形成

❷環境保全対策の推進

- ◆大気汚染、水質汚濁等の監視・公表
- ◆規制・指導による大気汚染、水質汚濁、土壌汚染等の対策
- ◆建築物の解体等工事における石綿（アスベスト）の飛散防止
- ◆パトロール、規制・指導による騒音、振動、悪臭等の苦情対策



みんなができること

市　民

- ◆地域清掃や環境美化活動に参加・協力しましょう。
- ◆ごみのポイ捨ては絶対にやめましょう。
- ◆ペットの鳴き声や楽器の演奏で周囲の迷惑にならないようにしましょう。



事業者

- ◆近隣住民の生活環境の保全に配慮した事業活動を行いましょう。
- ◆事業活動に伴う環境負荷を把握し、低減する努力をしましょう。



目標達成のための指標と関連する事業

工場・事業場に対する立入検査件数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
60 事業場	58 事業場	維持

関連する事業

■大気の汚染の状況の監視

大気汚染防止法に基づき、大気汚染の状況を監視するとともに、光化学スモッグ予報・注意報発令時には、防災行政無線及び立て看板による市民への周知を行う。

■公共用水域及び地下水の水質の状況の監視

水質汚濁防止法に基づき、市内の主要な河川、水路、地下水の水質の監視を行う。

■環境騒音や道路交通騒音及び振動の状況の監視

騒音規制法及び振動規制法に基づき、市域の環境騒音や道路交通騒音及び振動の監視を行う。

■ダイオキシン類による汚染の状況の監視

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、土壌、河川水質、河川底質、地下水質について、ダイオキシン類の監視を行う。

■工場・事業場に対する立入検査の実施

大気汚染防止法等の関係法令に基づき、有害物質を使用している等の一定の環境リスクがあると考えられる工場・事業場に対して計画的に立入検査を行い、関係法令の遵守徹底を指導する。

■騒音等苦情の発生源に対するパトロール・指導

騒音等苦情の速やかな解決に向け、苦情が発生している地域を対象とするパトロールや、騒音規制法等の関係法令に基づく原因者に対する規制・指導を行う。

地区計画の地区数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
30 地区	31 地区	増

関連する事業

■地区計画の決定

地域特性に応じた地区計画を決定し、計画的なまちづくりを進める。

景観届出件数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
33 件	45 件	増

関連する事業

■寝屋川市景観計画に基づく景観重点地区の拡充

良好な景観形成を進めるとともに、ランドマーク的要素を持てるような駅周辺整備や、公共公益施設整備などを推進する。

石綿（アスベスト）の飛散防止に係る立入検査件数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
10 件	0 件	増

関連する事業

■石綿含有建材を含む建築物の解体等工事への立入検査

特定粉じん排出等作業実施届出が提出された現場のうち、石綿の飛散リスクが高いと想定される現場等に対して立入検査する。また、廃棄物となった石綿含有建材が、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、適正に処理されるよう指導する。

3 循環型社会

～省資源が徹底され、資源が循環するまち～

施策の方向性

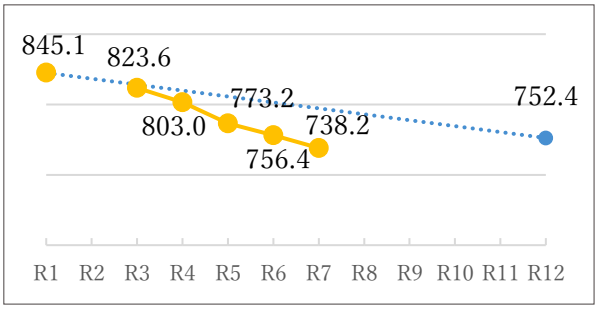
ごみの減量と資源化を進めます。また、近年注目されている食品ロスの削減やプラスチックごみの減量・分別徹底を推進します。

10年後の目標

※実線：実績値　　点線：目標値

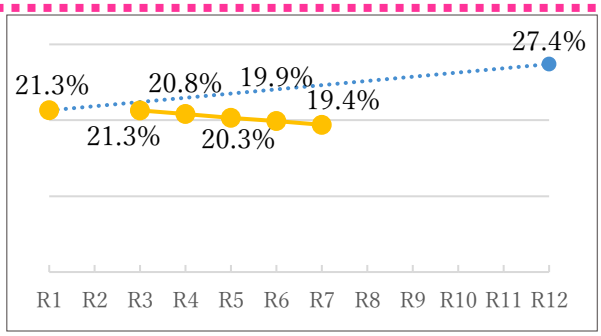
市民1人1日当たりのごみ排出量

令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
845.1 g/人・日	738.2 g/人・日	752.4 g/人・日



再生利用率（リサイクル率）

令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
21.3%	19.4%	27.4%



主な施策

❶減量化・再資源化の推進

- ◆簡易包装など環境にやさしい販売活動の推進
- ◆４Ｒの啓発を通じた自主的なごみ減量行動の推進
- ◆啓発や広報の強化による家庭系ごみの減量・資源化の推進
- ◆食品ロス削減の啓発等による事業系ごみの減量の推進
- ◆啓発を通じた再利用の推進



❷適正かつ効率的な処理の推進

- ◆効果的・効率的な収集体制の整備
- ◆巡回等による不法投棄等防止対策の推進
- ◆規制・指導・監視等による産業廃棄物の適正処理の推進



❸災害時体制の充実

- ◆災害廃棄物処理基本計画の適切な運用

みんなができること

市　民

- ◆買い物にはマイバッグを持参しましょう。
- ◆簡易包装の商品や詰め替え可能な商品を選んで購入しましょう。
- ◆エコクッキングなどごみの発生が少ない調理を行いましょう。



事業者

- ◆ばら売り・量り売りなど必要量の販売を行いましょう。
- ◆必要以上の過剰包装を避け、簡易包装を行いましょう。
- ◆食堂等の食べ残しを減らすための従業員教育を行いま



目標達成のための指標と関連する事業

家庭系ごみ総排出量

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
48,840ｔ	41,693ｔ	41,632ｔ

関連する事業

■生ごみ処理機購入費補助

家庭系ごみの約 40%を占める「生ごみ」を減量化するため、生ごみ処理機（電動式）の購入を補助する。

■資源集団回収活動への報償

資源の分別排出の促進に寄与する取組をする団体に対して報償金を交付することにより、ごみの減量と分別を図るとともに地域におけるごみ分別意識の高揚を図る。

■環境フェア

例年６月に実施される「環境フェア」において、フリーマーケットの出店者を募り、エコの市を開催する。

■民間事業者との連携協定

再生利用・再利用の更なる促進を図るため、民間事業者と連携協定を締結することで、廃棄物のリサイクルルートの確保とリユースに関する情報の提供を図る。

焼却処理量

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
55,312ｔ	47,737ｔ	46,212ｔ

関連する事業

■蛍光灯・乾電池の再資源化

蛍光灯・乾電池に含まれる有害物質である水銀を回収するとともに回収された水銀の再資源化を図る。

■資源ごみ残渣の再資源化

缶・びんにより回収された資源ごみ処理後に発生する残渣について、これまでは埋め立て処分していたが、残渣に含まれる資源物を回収し、更なる最終処分の削減を図る。

事業系ごみ総排出量

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
17,109ｔ	15,291ｔ	13,345ｔ

関連する事業

■３０１０運動マグネット

宴会等の場において実施する３０１０運動に加え、家庭での取り組みとして、食品の余剰な購買を抑止するため毎月 10・30 日の冷蔵庫の確認を啓発する。

■フードドライブ

食品ロス削減のため、市主催イベント（環境フェア）及び令和４年 10 月から市役所本庁舎等に常設した「フードドライブ」において、市民のみならず事業者からの協力を得て回収を実施する。

■多量排出事業者への指導

事業系一般廃棄物について、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例に基づき、年に１回一定の要件に該当する事業者（特定事業者）を対象に減量等計画書と廃棄物管理責任者を届けることとしている。

収集及び運搬の民間委託率

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
55.0%	55.0%	維持

関連する事業

■一般家庭ごみ収集運搬業務委託

ステーション方式として排出される一般家庭ごみについて、一部を委託業務にて行うことにより、効果的・効率的なごみの収集運搬を実施する。

■蛍光灯・スプレー缶収集処理業務委託

拠点収集を実施することで、蛍光灯の再資源化やスプレー缶類による火災事故を未然に防止を図る。

■災害発生時の収集体制

災害廃棄物の処理について各種計画の見直しを行い、災害時を想定した体制を整える。

産業廃棄物多量排出事業者及び産業廃棄物処理事業者に対する立入検査件数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
16 事業場	17 事業場	維持

関連する事業

■産業廃棄物多量排出事業者に対する立入検査

前年度に産業廃棄物を年間 1,000 トン以上又は特別管理産業廃棄物を年間 50 トン以上排出した事業者に対する立入検査を行う。

■産業廃棄物処理事業者に対する立入検査

産業廃棄物収集運搬業（積替え、保管を含む。）又は産業廃棄物処分業の許可を有する事業者に対する立入検査を行う。

4 脱炭素社会

～脱炭素社会に向けて行動し、将来に備えるまち～

施策の方向性

エネルギー消費量や温室効果ガス排出量の削減をより一層進めるとともに、市民及び事業者の環境に優しいライフスタイルへの転換を促進します。また、地球温暖化による悪影響に備える適応策についても検討します。

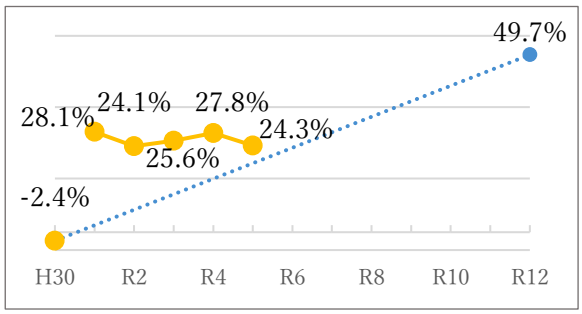
10 年後の目標

市域の CO2 排出量削減率（2013 年度比）

令和元年度（基準値）	令和 7 年度実績	令和 12 年度目標
2.4%増（H30）	24.3%（R 5 実績）	49.7%

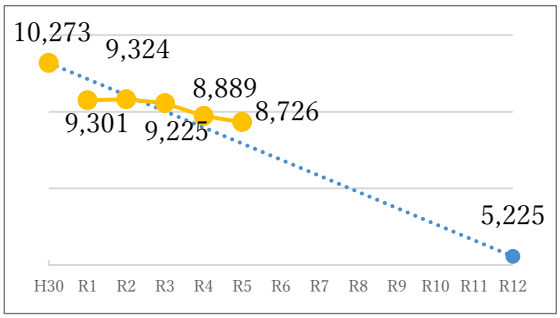
※基準値は、削減率算出時に使用する係数が異なります。

※実線：実績値　　点線：目標値



市域のエネルギー使用量

令和元年度（基準値）	令和 7 年度実績	令和 12 年度目標
10,273 TJ（H30）	8,726 TJ（R 5 実績）	5,225 TJ



主な施策

❶省エネルギー機器等の導入促進

◆高効率機器等の情報提供を通じた省エネ機器等の導入促進
◆公共施設における LED 照明等の導入促進



❷ライフスタイルの転換促進

◆情報提供による環境にやさしいライフスタイルへの転換促進
◆公共交通のアクセス性・利便性向上等の交通対策の推進

❸再生可能エネルギーの導入と普及啓発

◆再生可能エネルギーの情報提供等による導入支援
◆太陽光発電設備等の公共施設における再生可能エネルギーの導入促進



❹気候変動への適応

◆緑化等によるヒートアイランド対策の実施
◆雨水貯留施設の設置等による豪雨災害への備え
◆災害に強い地域・まちづくりに向けた自立・分散型電源の普及啓発
◆市民・事業者に対する気候変動適応策の周知啓発

みんなができること

市　民

◆冷暖房の適切な温度管理、照明のこまめな消灯などの省エネ生活を実践しましょう。
◆家電などを買換えるときは、省エネルギー性能の高い製品を選びましょう。
◆徒歩や自転車、公共交通機関の利用に努めましょう。

事業者

◆クールビズやウォームビズの実施、環境マネジメントシステムなど、環境に優しい事業活動を行いましょう。
COOLBIZ
◆省エネ性能の高い設備や機器、再生可能エネルギーの導入に努めましょう。



目標達成のための指標と関連する事業

クリーンセンター発電による CO_2削減量

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
3,642ｔ-CO_2	2,941ｔ-CO2	維持

関連する事業

■クリーンセンターごみ発電

廃棄物を焼却する際のエネルギーを利用して発電する「ごみ発電」によりクリーンセンター施設で使用する電力を賄い、化石燃料由来の電力の使用を逓減する。

■太陽光発電

クリーンセンター屋上に設置している「太陽光発電」により、クリーンセンター施設で使用する電力を賄い、化石燃料由来の電力の使用を逓減する。

■第５期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画の推進

令和４年３月に策定した第５期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画において、市の事務事業における温室効果ガスの排出量（施設・種類）の推移について示すとともに、取り組むべき事項について周知を図り推進する。

市内４駅の乗降客数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
150,889 人/日	142,761 人/日（R６実績）	154,400 人/日

関連する事業

■公共交通利用促進補助事業

京阪バスから紙券での運用ができなくなるとの申し出があり、市で既に実施していた「高齢者交通系 IC カード購入補助事業」と本事業を統合し、交通系 IC カードを活用した「公共交通利用促進補助事業」を実施する。

■乗合い事業

シルバー世代や妊婦等が利用できるデマンドタクシーを運行し、交通利便性の向上を図る。

■ねや BUS 事業

京阪バス路線のうち、３路線が令和６年３月 31 日をもって廃止されたことから、市において令和６年４月１日からコミュニティバス（ねやＢＵＳ）を定時定路線で運行し、市民の移動手段を確保する。

その他の関連する事業

■第２次寝屋川市地球温暖化対策地域計画の推進

寝屋川市地球温暖化対策地域計画を令和３年 11 月に改定し、省エネルギー機器等の導入促進を含めた、市域における温室効果ガスの削減目標を策定した。

市域の太陽光発電システム設置件数（累計）

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
3,413 件	4,739 件	6,000 件

市域の太陽光発電システム設備容量（累計）

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
1.75 万kW	2.44 万kW	3.5 万kW

関連する事業

■太陽光発電設置システム購入費補助（家庭用・自治会集会所用）

市内における再生可能エネルギーの普及のため、太陽光発電システム設置の購入費を補助する。

年間の熱帯夜の日数（５年移動平均値）

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
24 日	43 日	22 日以下

グリーンカーテン設置施設数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
74 施設	54 施設	85 施設

関連する事業

■グリーンカーテン

地球温暖化対策の必要性の意識向上を図るため、学校、保育所等において、ゴーヤの苗を無償で配布して、グリーンカーテンを作り、日射熱を抑制することで、冷房等の電力使用抑制を図る。

貯留施設設置率

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
82.4%	88.7%	98.4%

関連する事業

■雨水貯留浸透施設設置

公園における雨水貯留浸透施設の整備や民間開発における貯留施設の指導による整備を進める。

5 環境教育・環境学習

～みんなが考え、参加し、協働により成長するまち～

施策の方向性

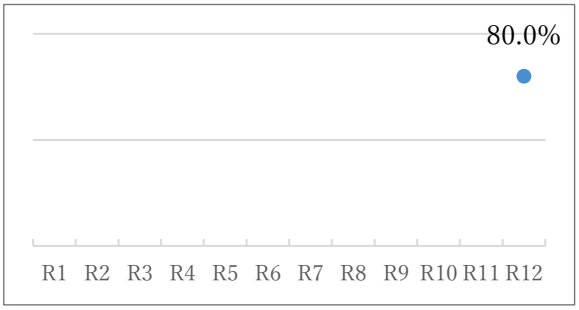
環境に関する情報発信や学習の機会を拡充し、市民・事業者の環境への関心を高めます。また、市民・事業者・市の連携強化や様々な主体間のネットワーク化を進め、三者協働によるまちづくりをめざします。

10年後の目標

環境問題に関心のある市民の割合

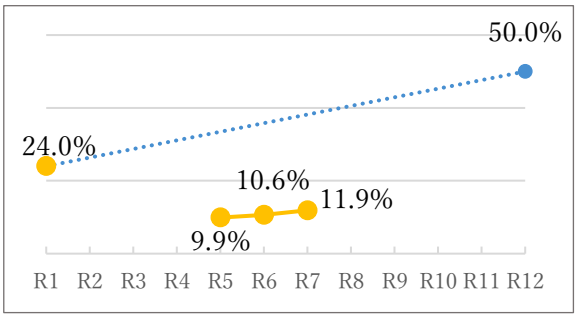
令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
-	-	80%

※実線：実績値　　点線：目標値



環境に関するイベントに参加したことのある小学生の割合

令和元年度（基準値）	令和7年度実績	令和12年度目標
24%	11.9%	50%



主な施策

❶環境教育と環境学習の推進

- ◆学校における環境教育の一層の推進
- ◆環境学習内容の拡充と学習の場の提供
- ◆さまざまな機会を活用した環境に関する啓発活動の実施
- ◆幅広い年齢層の市民や事業者に対する情報提供
- ◆環境リーダーの発掘や人材育成の推進



❷協働の推進

- ◆情報交換や交流の場づくりの推進
- ◆交流の場等を活用したパートナーシップの構築
- ◆連携強化や様々な主体間のネットワーク化を通じた協働による環境活動の推進



みんなができること

市　民

- ◆地域の環境に興味を持ち、保全・創造する気持ちを持ちましょう。
- ◆環境学習会やイベントに参加しましょう。
- ◆市民団体の環境活動に積極的に参加しましょう。



事業者

- ◆職員研修等により、従業員の環境意識の向上を図りましょう。
- ◆環境に関するイベント等に参加・協力しましょう。
- ◆地域での環境保全活動に積極的に参加しましょう。



目標達成のための指標と関連する事業

環境に関するイベントの参加者数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
467 人	498 人	650 人

関連する事業

■親子で見る自然散策と水辺の生物観察

市民の親子が一緒に自然散策をしながら水辺に棲む生物を観察し、身近な水辺に親しむとともに、水質状況を知ることにより水質保全の重要性についての理解と知識を深めることを目的とした生物観察会を開催する。

■自然観察会

市内の公園や河川等にて、自然とのふれあいや講師による説明を通じ、自然環境や生物多様性への理解を深めることを目的に開催する。

■水辺空間におけるイベント

茨田イチョウまつりなど、市民団体等を主体とする水辺空間におけるイベントの開催。

環境フェアの参加者数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
2,664 人	2,235 人	3,000 人

関連する事業

■環境フェア

毎年６月に市立中央小学校において、「環境フェア」を実施し、環境に関する様々なブースを出展して、環境意識の高揚を図るとともに、美しいまちづくり表彰の実施など、地域と協働した美しい環境づくりの場を推進する。

環境リーダー認定者数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
-	118 名	200 名

関連する事業

■環境リーダーの養成

第３次環境基本計画において、特に子どもへの環境教育・環境学習の場の提供の重要性が記されたことから、市内小学４～６年生を対象に環境のことを自らが考えることのできる人材を養成する。

環境に関する表彰の受賞者数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
53 名/22 団体	33 名/６団体	維持

関連する事業

■生ごみ堆肥化土づくり講習会

各家庭における生ごみの減量化を図ることを目的に、市内の各コミュニティセンターにおいて、講師を招き「生ごみ堆肥化土づくり堆肥化」の講習会を実施する。

■美化啓発看板の配布

美しいまちづくりの推進のため、「ポイ捨て禁止」と「犬のふん持ち帰り」の啓発看板を作成し、希望者に無償で配布している。

■ごみ集積所の保全

カラスなどにより荒らされ、まちの美観を阻害する恐れのあるごみ集積所について、「ごみ散乱防止ネット」の無償貸与や「折り畳み式箱型ネット」の購入に対し補助金を交付することで、周辺環境の保全を図る。

■地域美観の向上

美しいまちづくり推進員と連携して、地域美観の向上に努めているものの、地域との連携が不足している状況であり、清掃物品の貸与等により、地域における清掃等の活動への支援を目的として事業を実施する。

環境保全活動の参加者数

令和元年度実績（基準年度）	令和７年度実績	令和 12 年度目標値
3,475 人	278 人	4,000 人

関連する事業

■クリーンリバー寝屋川作戦

一級河川寝屋川でのクリーンリバー寝屋川作戦における、市民協働による清掃活動の実施。

■ねやがわクリーンデイ

各中学校区内の道路・公園などの地域清掃活動や啓発活動の実施

■駅前清掃

美しいまちづくりの推進を図るため、まちの玄関口である市内４駅（寝屋川市・香里園・萱島・寝屋川公園）を美しいまちづくり推進員と市が協働して清掃活動を実施する。

背表紙